

## 歴史的建造物等保存決定リスト (国立療養所栗生楽泉園)

No.	対象建造物等	概要	備考
1	青年会館	<p>【用途】 娯楽場</p> <p>【建設年】 昭和7年11月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延床面積：150㎡</p> <p>【履歴】 栗生楽泉園開園当初に建設され、昭和14年に中央会館が建設されるまで娯楽場として使用されていた。その後、園内学童の教育の場としても使用され、最終的には園内青年団の集会所と使用されたことから「青年会館」と呼ばれています。今では、園内に現存する最古の建物となっています。</p>	第13回検討会保存決定
2	草津カトリック教会	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和37年9月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延床面積：105㎡</p> <p>【履歴】 昭和31年、当園看護婦の呼びかけで、カトリック信徒会が発足し、フランススコ会の出資により昭和37年9月に完成した。マリアの宣教者フランススコ修道会である。教会でありながら出入口及び室内等が入所者と健常者用に区別されていた。教会の設計に光田健輔氏の親族が関わっていたといわれています。</p>	第13回検討会保存決定
3	天理教会堂	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和17年11月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 床面積：170㎡</p> <p>【履歴】 天理教の教会堂として、昭和17年11月に完成し遷座式が行われたが、昭和22年4月春の季節風で半倒壊し、昭和23年12月に天理教本部からの復興寄付金で、改修・増築された。信徒会の名称は当初「一字会」であったが「あけぼの会」へ改称した。</p>	第13回検討会保存決定
4	妙法会堂	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和27年10月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延床面積：132㎡</p> <p>【履歴】 御堂は昭和27年10月、当時山梨県にあったハンセン病療養所身延深敬園の綱脇龍妙園長の協力を得て建立された。</p>	第13回検討会保存決定
5	大谷光明寮及び鐘堂（慈光の鐘）	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和11年</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延床面積：105㎡</p> <p>【履歴】 自治会資料では昭和11年築、昭和16年慰安会より園に寄附となっている。真宗大谷派の真宗本山より説教場建設費が下付され昭和11年12月に落成された。当時、説教場兼患者住宅として利用した。信徒会の名称は「崇信会」です。「光明寮」の名称は、野田市明浄寺の和光賢正住職が光明皇后の名にあやかって命名した。</p>	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト (国立療養所栗生楽泉園)

No.	対象建造物等	概要	備考
6	聖公会堂	<p>【用途】宗教施設</p> <p>【建設年】昭和14年</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：297㎡</p> <p>【履歴】自治会資料では昭和14年築で、当初208㎡であったが、昭和30年297㎡に増築した。教会の建立にあたりコンウォール・リー女史の働きに由来します。湯之沢集落（草津町自由療養地区）から入所した聖バルナバ教会信徒は舎で礼拝していましたが、宣教師ネルトン女史の献金及び米国聖公会の少女会からの寄付により昭和14年11月落成した。建物内部の建築様式は歴史的価値のある設計で、ステンドグラス等の貴重なものが多数存在している。</p>	第13回検討会保存決定
7	栗生大師堂	<p>【用途】宗教施設</p> <p>【建設年】昭和31年</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：128㎡</p> <p>【履歴】昭和16年湯之沢集落の解散により入所した大師講員によって栗生大師講が発足したが、信者が68名となり会堂建立を目指した。高野山東京別院等の協力のもと募金活動を行っていたところ、建立資金全額寄付の申し出があり、昭和31年10月初旬に落成できた。</p>	第13回検討会保存決定
8	納骨堂	<p>【用途】納骨堂</p> <p>【建設年】昭和59年</p> <p>【構造】鉄筋コンクリート</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：29㎡</p> <p>【履歴】最初の納骨堂は昭和23年に建てられましたが、老朽化により昭和59年に入所者の寄付等で現在の納骨堂に更新された。</p>	第13回検討会保存決定
9	重監房（特別病室の基礎部分）	<p>【用途】監房</p> <p>【建設年】昭和13年12月</p> <p>【規模】地上1階（基礎部分のみ）</p> <p>【面積】延床面積：32.75坪</p> <p>【履歴】昭和13年12月24日重監房「特別病室」設置。懲戒検束権に基づき、全国の療養所より園内の規律を乱した患者を収容。昭和23年廃止。</p>	第13回検討会保存決定
10	旧望学園	<p>【用途】旧小中学校講堂</p> <p>【建設年】昭和30年</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：82㎡</p> <p>【履歴】昭和16年、草津湯之沢にあった患者児童のための聖望小学校を解体移築し、「望学園」として患者児童の教育が行われた。昭和29年3月には草津小中学校の分校となり、校舎も新築した。昭和36年、患者児童がいなくなり休校となり、平成9年3月31日をもって廃校となりました。休校後、雨天体操場などは牛乳処理場として長く使われました。昭和63年、老朽化のため取り壊され講堂の建物のみが残され、自治会下地区集会場として使用されたが、今は物置となっている。唯一現存している建物である。</p>	第13回検討会保存決定

歴史的建造物等保存決定リスト (国立療養所栗生楽泉園)

No.	対象建造物等	概要	備考
11	最上舎	<p>【用途】寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】昭和15年10月</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：40㎡</p> <p>【履歴】昭和15年10月鈴蘭園から移築、昭和16年1月癩予防法協会より寄附された。昭和7年三上千代が建設した「鈴蘭園」から移築した住居で、唯一現存している建物である。</p>	第13回検討会保存決定
12	目白舎	<p>【用途】寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】昭和16年</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：33㎡</p> <p>【履歴】自治会資料では昭和11年となっている。昭和17年栗生慰安会から園に寄附された。当園に現存する十坪住宅（6帖・4.5帖・台所）のうち最も原形に近い建物である。</p>	第13回検討会保存決定
13	白菊舎	<p>【用途】寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】昭和16年</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：46㎡</p> <p>【履歴】昭和16年に湯ノ沢部落（草津町の自由療養地区）から移築、昭和29年に栗生慰安会から園に寄附、現在の入所者は昭和23年から入居されている。増築後の面積は55㎡である。</p>	第13回検討会保存決定
14	浪速表8号	<p>【用途】寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】昭和16年</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：33㎡</p> <p>【履歴】自治会資料では昭和9年に三井報恩会からの寄附金により癩予防協会が建設した。同年の完成前に外島保養院から被災入所者が入居し、昭和13年被災入所者の帰園後、栗生慰安会の建物となる。昭和16年に寄附された。外島保養院の被災入所者が入居していた浪速表9棟及び浪速裏10棟で唯一現存している舎である。</p>	第13回検討会保存決定
15	ひよどり舎	<p>【用途】寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】昭和9年7月</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：26㎡</p> <p>【履歴】一般舎の住宅であり、現存している建物である。</p>	第13回検討会保存決定
16	田代舎	<p>【用途】寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】昭和15年10月</p> <p>【構造】木造</p> <p>【規模】地上1階</p> <p>【面積】床面積：49㎡</p> <p>【履歴】一般舎の住宅であり、現存している建物である。</p>	第13回検討会保存決定

## ●歴史的建造物等保存決定リスト（大島青松園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
1	木工所	<p>【用途】 木工所</p> <p>【建設年】 明治41年</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 150.01㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>・竣工当時は礼拝堂（講堂）として使用されていた。・全国立療養所のなかでおそらく現存最古の建物ということになる。（ただし、サッシュなど、後の改変も認められる。）当初は礼拝堂だったらしいが、中は改修され、その面影はない。外装も少なくとも一部は変更されているのが認められる。</p>	第13回検討会保存決定
2	霊交会キリスト教会	<p>【用途】 教会</p> <p>【建設年】 昭和9年</p> <p>【増改築年】 昭和22年 玄関 左隣に部屋を増築</p> <p>【構造形式】 木造、鉄筋コンクリート</p> <p>【面積】 136.66㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>・竣工当時は礼拝堂（講堂）として使用されていた。</p> <p>・アメリカのミッションより寄付が11,000円の寄付の申し出が長島愛生園にあったが、他の宗教の礼拝所がない中、キリスト教会だけ建設するのを困難として断った。その結果、寄付を大島青松園が受けることとなり、全額使用してキリスト教会を造った。</p>	第13回検討会保存決定
3	石仏・ミニ八十八カ所	<p>【用途】 石仏</p> <p>【建設年】 大正初期</p> <p>【履歴】</p> <p>・大島に療養所開設後間もなく、香川県三豊郡（現・三豊市）本山寺の住職が、大島の中でも四国霊場八十八カ所めぐりができるようにと尽力したが、志半ばにして逝去、弟子である実相寺住職がその遺志を継いで篤志家を募った。大正初期、「患者地帯」にあった北の山を四国に見立て、その周囲に寄贈された石仏をまつた「八十八カ所」が完成した。</p>	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト（奄美和光園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
1	旧納骨堂	<p>【用途】 納骨堂</p> <p>【建設年】 昭和38(1963)年</p> <p>【構造】 鉄筋コンクリート造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 6.3㎡</p> <p>【履歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大西基四夫園長（当時）の依頼を受け、名瀬市出身の彫刻家、基俊太郎が設計、職員、入所者の勤労奉仕により完成した。</li> <li>・昭和60(1985)年まで使用していた。</li> </ul>	第13回検討会保存決定
2	旧火葬場	<p>【用途】 火葬場</p> <p>【建設年】 昭和31(1956)年</p> <p>【構造】 コンクリート造(?)</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 不明</p> <p>【履歴】 不明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他界した入所者は園内にあるこの地で荼毘に付された。</li> <li>・平成3(1991)年に火災が発生したのを機に使用されなくなり、その後は奄美市斎場を使用することとなった。</li> </ul>	第13回検討会保存決定
3	旧霊安解剖棟	<p>【用途】 解剖室・霊安室</p> <p>【建設年】 昭和46(1971)年3月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積 46.36㎡</p> <p>【履歴】 平成3(1991)年まで使用。解剖室では、お通夜等も行っていた。</p> <p>【構成材料（管理台帳より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根：トタン葺（現在）</li> <li>・外壁：ベニヤ板張り</li> <li>・屋根：トタン葺</li> </ul>	第13回検討会保存決定
4	双葉分校跡	<p>【用途】 小中学校</p> <p>【建設年】 昭和27(1952)年頃</p> <p>【構造】 不明</p> <p>【規模】 不明</p> <p>【面積】 不明</p> <p>【履歴】 入所者の中で学齢に達したものの教育のため近隣の朝日小学校、中学校の分校として設立、平成3(1991)年度まで使用された。</p>	第13回検討会保存決定
5	少年舎跡	<p>【用途】 入所者居室</p> <p>【建設年】 不明</p> <p>【構造】 不明</p> <p>【規模】 不明</p> <p>【面積】 不明</p> <p>【履歴】 自治会事務所近く、現在の駐車場付近にあった</p>	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト（奄美和光園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
6	少女舎跡	<p>【用途】 入所者居室</p> <p>【建設年】 不明</p> <p>【構造】 不明</p> <p>【規模】 不明</p> <p>【面積】 不明</p> <p>【履歴】 自治会事務所近くにある、さゆり荘（面会人宿泊所）の場所に少女舎が設置されていた。</p>	第13回検討会保存決定
7	未感染児保育所跡	<p>【用途】 未感染児童の保育所</p> <p>【建設年】 不明</p> <p>【構造】 不明</p> <p>【規模】 不明</p> <p>【面積】 不明</p> <p>【履歴】 親や養育していた人がハンセン病になり入所した際、未感染の子どもを預かっていた。</p>	第13回検討会保存決定
8	現納骨堂	<p>【用途】 納骨堂</p> <p>【建設年】 昭和59(1984)年3月</p> <p>【構造】 RC</p> <p>【規模】 52柱建立</p> <p>【面積】 13㎡</p> <p>【履歴】 昭和59(1984)年建立、現在も物故者の遺骨を安置している。</p>	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存対象リスト (多磨全生園)

No.	対象建造物等	概要	備考
1	旧図書館	<p>【用途】 図書館</p> <p>※理容院及び美容院として使用</p> <p>【建設年】 財産台帳記載：昭和12（1937）年1月（※詳細は備考）</p> <p>【構造形式】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：150.41㎡</p> <p>【構成材料】</p> <p>※昭和33（1958）年4月1日作成の財産台帳より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根：瓦葺（現在）</li> <li>・外壁：下見板張り、漆喰</li> <li>・屋根：スレート葺、一部トタン葺</li> </ul>	第11回検討会保存決定
2	築山 （望郷の丘）	<p>【用途】 史跡</p> <p>【建設年】 大正14（1925）年</p> <p>【履歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大正11（1922）年に購入した土地の整地により出た木の根を集め、逃亡防止用の堀の残土を積み上げ、入所者の手によって建造。</li> </ul>	第11回検討会保存決定
3	少年少女舎	<p>【用途】 寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】 昭和28(1953)年3月25日</p> <p>【構造形式】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：290.9㎡</p> <p>【履歴】（※詳細は備考）</p> <p>【構成材料（財産台帳より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根：スレート葺（現在）</li> <li>・外壁：下見板張り、漆喰</li> <li>・屋根：スレート葺、トタン葺き（一部）</li> </ul>	第11回検討会保存決定
4	旧山吹舎	<p>【用途】 寮舎（住宅）</p> <p>【建設年】 昭和3（1928）年10月</p> <p>【増改築年】 修復 平成15(2003)年8月竣工</p> <p>【構造形式】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：145.45㎡</p> <p>【構成材料（財産台帳より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根：スレート葺（現在）</li> <li>・外壁：下見板張り、漆喰</li> <li>・屋根：スレート葺、トタン葺き（一部）</li> </ul>	第11回検討会保存決定
5	永代神社	<p>【用途】 神社</p> <p>【建設年】 昭和9年5月上棟式</p> <p>【履歴】 伊勢神宮20年毎の造営余材の払い下げと入所者・職員・篤志家の寄附で購なう。宮大工石井某を中心に土盛り、木挽きなど全て入所者で建造。10年に鳥居、11年に玉垣が完成。ご神体は伊勢大神宮、豊受大神宮、明治神宮の3体。</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：8.92㎡・3.42㎡</p>	第13回検討会保存決定
6	納骨堂	<p>【用途】 納骨</p> <p>【建設年】 昭和61年3月</p> <p>【履歴】 起工以来1年、延3442人の入所者作業によって竣工。昭和61年老朽化のため、入所者の募金によって、同型で1.5倍の現納骨堂を再建した。</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：</p>	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存対象リスト（多磨全生園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
7	カトリック教会	【用途】教会 【建設年】昭和27年6月 【履歴】 【面積】建築面積・延床面積：195.57㎡	第13回検討会保存決定
8	秋津教会	【用途】教会 【建設年】昭和24年 【履歴】昭和57年に好善社（教会）から提供された建物を教会負担により建て替え 【面積】建築面積・延床面積：142.11㎡	第13回検討会保存決定
9	日蓮宗会堂	【用途】寺 【建設年】昭和32年 【面積】建築面積・延床面積：165.28㎡	第13回検討会保存決定
10	聖公会	【用途】教会 【建設年】昭和26年 【面積】建築面積・延床面積：148.76㎡	第13回検討会保存決定
11	大師堂	【用途】寺 【建設年】昭和56年 【履歴】真言宗多磨全生園が建立 【面積】建築面積・延床面積：106.0㎡	第13回検討会保存決定
12	真宗会館（和光会館）	【用途】寺 【建設年】昭和40年 【面積】建築面積・延床面積：97.1㎡	第13回検討会保存決定
13	日蓮正宗蓮華堂	【用途】寺 【建設年】昭和50年 【履歴】日蓮正宗広説寺（東久留米市）が別院として建立・寄進 【面積】建築面積・延床面積：1291.69㎡・185.62㎡	第13回検討会保存決定
14	全生学園跡（旧小・中学校）	【用途】広場 【建設年】昭和6年 【解体年】老朽化により平成20年解体。 【面積】面積2,414.59：㎡	第13回検討会保存決定
15	土塁・堀	【用途】史跡 【建設年】年 【履歴】入所者の逃走を防ぐと同時に外部から人の進入を防ぐためのもの。患者地区側からみると高さ2mの土塁があり、その外側に深さ2mの空堀が掘られていた。なお、職員地区と患者地区間の土塁と堀を延長した際、残土などを利用して望郷の丘が誕生した。	第13回検討会保存決定
16	柵の垣根	【用途】史跡 【建設年】年 【履歴】入所者の逃走と外部からの侵入を防いでいた土塁・堀に代わり植えられてもの。最も高い時代は3mあった。1960年以降は1mほどに短く刈り込まれている。	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト（邑久光明園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
1	恩賜会館	【用途】講堂 【建設年】昭和16年11月 【構造】木造 【規模】地上1階 【面積】延べ面積：181㎡ 【履歴】 昭和15年貞明皇太后の施設改善拡充のための御下賜金を基として、大阪府を初め2府10県の連合府県より資金を集めて建てられた。	第12回検討会保存決定
2	奉安殿	【用途】社殿 【建設年】昭和18年3月 【構造】鉄筋コンクリート造 【規模】地上1階 【面積】延べ面積：3.6㎡ 【履歴】 昭和16年7月貞明皇太后より写真及び苗木が下賜され、昭和18年3月奉安殿が竣工し、同年6月の貞明皇太后の誕生日である25日に「皇太后陛下御写真奉安式」が挙行された。	第12回検討会保存決定
3	物資搬入斜路	【用途】線路 【建設年】昭和13年 【構造】コンクリート造 【履歴】 昭和13年開園当時から昭和48年まで海路で藪池栈橋に搬入された物資を運び上げるために使用していた。	第12回検討会保存決定
4	瀬溝の栈橋	【用途】栈橋 【建設年】昭和13年 【構造】石造 【履歴】 対岸の虫明瀬溝地区と長島の邑久光明園の渡し場として利用された。	第12回検討会保存決定
5	裳掛小・中学校第三分校	【用途】学校 【建設年】昭和14年4月 【構造】木造 【規模】地上1階 【面積】延べ面積：238㎡ 【履歴】 裳掛小・中学校第三分校は光明学園として子供の入所者の勉学のため昭和14年4月双葉寮のすぐ近く庭を隔てたところに開校された。	第12回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト（邑久光明園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
6	少年・少女舎	<p>【用途】住居            【建設年】昭和14年3月            【構造】木造            【規模】地上1階            【面積】延べ面積：471㎡            【履歴】</p> <p>昭和14年3月竣工し、同年6月双葉寮として運用を開始した。            入室している児童は、満16歳になると双葉寮から一般寮に移っていった。            昭和27年児童の増加に対応するため、増築され現在のコの字型になった。            最も多いときには、71名が暮らしていたが、次第に減少し、昭和37年中学校の閉校後は、昭和39年より昭和50年頃まで女子寮として使用された。</p>	第12回検討会保存決定
7	面会所	<p>【用途】面会所            【建設年】昭和13年            【構造】木造            【規模】地上1階            【面積】延べ面積：112.6㎡            【履歴】</p> <p>開園時にすべての入所者への面会所として建築された。</p>	第12回検討会保存決定
8	監禁室及び監視室	<p>【用途】監禁所            【建設年】昭和14年            【構造】コンクリートブロック造            【規模】地上1階            【面積】延べ面積：62.3㎡            【履歴】</p> <p>大正5年療養所長に「懲戒検束権」が附与され、昭和6年には「国立癩療養所患者懲戒検束規定」が制定された。            これらにより、園長の権限で監禁室の使用が認められ、監禁室が、木尾湾の入り口近くの湾の西側の丘の上に、府県連合立光明園として昭和14年新設され、昭和26年まで使用された。</p>	第12回検討会保存決定
9	2つの栈橋	<p>【用途】栈橋            【建設年】昭和13年            【構造】石造            【履歴】</p> <p>木尾湾に向かい右側の栈橋は「患者栈橋」と呼ばれ、入所者専用として使用された。            一方、左側は、「職員栈橋」と呼ばれ、園の入り口として職員の通勤や来客等の船による玄関として使用された。</p>	第12回検討会保存決定
10	藪池の栈橋	<p>【用途】栈橋            【建設年】昭和13年            【構造】コンクリート造            【履歴】</p> <p>昭和13年木造の仮設栈橋から始まり、その後石造りとなり、昭和54年3月鉄筋コンクリートに改修された。</p>	第12回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト（邑久光明園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
11	西本願寺会館	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和34年3月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延べ面積：150.71㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>財団法人光明園慰安会により建設、竣工後寄付された。</p>	第13回検討会保存決定
12	キリスト教会堂	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和35年3月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上2階</p> <p>【面積】 建築面積：167.1㎡ 延べ面積：170.41㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>好善社により建設、竣工後寄付された。</p>	第13回検討会保存決定
13	日蓮宗立正会堂	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和35年3月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延べ面積：116.8㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>綱脇龍妙師により建設、竣工後寄付された。</p>	第13回検討会保存決定
14	天理教会館	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和37年11月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延べ面積：134.61㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>天理教岡山教区により建設、竣工後寄付された。</p>	第13回検討会保存決定
15	真言宗会館	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和37年11月</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延べ面積：130.33㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>高野山真言宗備前宗務支所により建設、竣工後寄付された。</p>	第13回検討会保存決定

## 歴史的建造物等保存決定リスト（邑久光明園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
16	金光教求信 会会堂	<p>【用途】 宗教施設</p> <p>【建設年】 昭和29年12月</p> <p>【移転新築】 昭和61年3月</p> <p>【構造】 鉄筋コンクリート造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 延べ面積：96.92㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>宗教法人金光教により移転新築され、その後寄付された。</p>	第13回検討会保存決定
17	しのびづか 公園（碑含 む）	<p>【用途】 公園（墓地）</p> <p>【建設年】 平成19年</p> <p>【履歴】</p> <p>入所者は死亡しても、ハンセン病に対する偏見差別により、町の火葬場は使用させてもらえず、園内に設けられた火葬場で同じ入所者の手によって火葬されていた。火葬場は昭和30年に、現在、しのびづか公園がある場所へ移設され、昭和39年には愛生園と共同利用になり、平成12年12月末日まで使用されていた。ご遺骨の残骨はしのび塚に納められている。</p> <p>また、園内にて胎児等標本49体のホルマリン漬けの存在が明らかとなり、鎮魂のため、平成19年4月にそのうち45体※の遺骨を納めた慰霊の碑が建立された。</p> <p>※4体の遺骨は遺族のもとに帰った。</p>	第13回検討会保存決定

## ●歴史的建造物等保存決定リスト（菊池恵楓園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
1	隔離の壁	<p>【用途】 入所者の無断外出の防止</p> <p>【建設年】 昭和4年（1929）年</p> <p>【構造】 鉄筋コンクリート ブロック造</p> <p>【履歴】</p> <p>・昭和4（1929）年、九州療養所第二期拡張工事の際に建設された。拡張工事にあたり、療養所敷地境界の西側と北側にそれぞれ300m、700mが設置された。壁の無い東側には空堀が掘られていた。現存する壁は北側約600mのみである。無断外出の防止を目的として設置されているものの、軽症の入所者はこの壁を乗り越えて頻繁に外に出ていた。しかしながら壁を越えることができたとしても、多くの入所者にとっての無断外出は気晴らしの外出であり、外で生活するあてもないためすぐに療養所に戻ってきていた。壁は療養所の内と外を象徴するものであり、入所者にとって療養所の中以外に居場所がないことをより強く印象付けるものであった。壁の説明においては入所者に対する心理的効果に重点をおいた説明がなされねばならない。</p>	第12回検討会保存決定
2	監禁室	<p>【用途】 監禁室</p> <p>【建設年】 大正6（1917）年</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積；48.76㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>・大正6（1917）年4月竣工。主に療養所から無断外出した入所者を拘禁した。設置は大正5（1916）年の明治四十二年法律第十一号の改正に基づく。運用実態についての詳細な記録は現状確認されていないが、断片的な資料や入所者の証言が多少存在する。運用が終了した時期は不明だが昭和25（1950）年までの運用を示唆する記録が存在する。設置当時は監禁室の周囲には木塀が建てられており、後にレンガ塀に変更されている。レンガ塀も昭和30（1955）年に撤去されている。用途廃止後は入所者援護会事業として運営された精米所や自治会事業のための事務所として改装されて用いられている。現在、監禁室の内部には木格子が再現された部屋が一室存在する。</p>	第12回検討会保存決定
3	旧事務本館	<p>【用途】 事務所</p> <p>【建設年】 昭和26（1951）年</p> <p>【構造】 鉄筋コンクリート</p> <p>【規模】 地上2階</p> <p>【面積】 延床面積；1,684.29㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>・昭和26（1951）年3月26日に新築竣工した建物。竹中工務店が建設を請け負った。1000床増床を目指した第5期拡張工事の際に建設。太平洋戦争後終戦後すぐの時期には珍しい鉄筋コンクリート造り2階建ての建物であった。手前に立つ塔は「希望の塔」と呼ばれており、先頭には「希望の鐘」と呼ばれる鐘が掛けられていた。</p>	第12回検討会保存決定

●歴史的建造物等保存決定リスト（菊池恵楓園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
4	旧納骨堂	<p>【用途】 納骨堂</p> <p>【建設年】 昭和14（1939）年</p> <p>【履歴】</p> <p>・全国各宗本山及びキリスト教の寄付により、昭和14（1939）年に既存の納骨堂を移転拡張する形で建立された。この旧納骨堂は移転拡張されたものであり、先行して更に古い納骨堂が存在していた。引き取り手の無い入所者の遺骨が納められていたが、1970年代から浸水するようになり、半地下形式ということもあって、湿気のために納められた骨壺の文字が消えるようになったことから昭和51（1976）年に新たな納骨堂が建立され、役割を譲った。</p>	第13回検討会保存決定
5	納骨堂	<p>【用途】 納骨堂</p> <p>【建設年】 昭和51（1976）年</p> <p>【構造】 鉄筋コンクリート</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 57.94㎡</p> <p>【履歴】</p> <p>・旧納骨堂が老朽化したため、昭和51（1976）年に新たに建立された納骨堂。旧納骨堂が雨漏れし、湿気により書かれている文字が判読できない状態となった骨壺が出てきたことに対して入所者の間から不安の声が出てきたため、自治会創立50周年記念として新納骨堂を建立することが決定した。建立に際しては入所者からの寄付も行われており、主に納骨堂周辺の造園工事、他に納骨堂備品の購入に充てられた。</p> <p>旧納骨堂からの骨壺の移動に際しては、昭和50年10月1日に旧納骨堂移転供養が執り行われ、移動自体は同4日に実施された。納骨堂落慶法要は10月15日に執り行われた。令和6年2月1日現在では、1,370柱が納められている。</p>	第13回検討会保存決定
6	旧火葬場跡	<p>【用途】 火葬場</p> <p>【建設年】 大正9（1920）年</p> <p>【履歴】</p> <p>・恵楓園では開所期から昭和35（1960）年に至るまで、園内で死亡した入所者の遺体は園内で火葬することを基本としていた。現在の火葬場跡は大正9（1920）年に設置されたものの跡地であり、ここには炉を内部に有する小屋が設置されていた。火葬場設置以前の時期の死亡者について、どこで火葬が行われていたかは現状明らかではないが、多磨全生園の場合、火葬場ができるまでの期間は「野天」での火葬が行われたとされており、当園の場合も火葬場が無い時期は同様の方法がとられたものと推察される。園外の火葬場の利用は昭和35（1960）年12月1日以降に開始されている。跡地には昭和58（1983）年に「やすらぎの碑」が建立された。</p>	第12回検討会保存決定

●歴史的建造物等保存決定リスト（菊池恵楓園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
7	日光回転家屋	<p>【用途】 ひなたぼっこ小屋</p> <p>【建設年】 昭和初期</p> <p>【構造】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【履歴】</p> <p>・熊本市内にあった私立のハンセン病療養所、回春病院内に設置されていた建物。病院内には2棟が存在していたが、その内の一棟が昭和49（1974）年に園内の黎明教会堂前に移設された。用途について明記している資料は現状確認されていないが、入所者の口伝では「日向ぼっこ小屋」であったとされる。床面積は4.34㎡、小屋の下部に5つの車輪がついており、これが地面側に設置された円形のレール上を滑ることにより、手で押して建物の向きを変えることが可能となっている。読書や瞑想の場になったという。旧事務本館建物が資料館として活用されることが決定した後、その南側に移設して改修を実施、平成20（2008）年には国登録有形文化財に登録された。</p>	第12回検討会保存決定
8	高野六郎の歌碑	<p>【用途】 歌碑</p> <p>【建設年】 昭和37（1962）年3月</p> <p>【構造】 自然石</p> <p>【規模】 高さ1.2m 幅2m</p> <p>【履歴】</p> <p>・厚生省衛生予防局長、藤楓協会理事長などを務めた高野六郎（明治17／1884年—昭和35／1960年）の短歌が刻まれた石碑。昭和37（1962）年3月10日に除幕式が行われた。高野の歌「肥後の野の櫓や紅きとはるばるに一夜を汽車にいねきしものを」が刻まれている。高野は昭和35年に死去したため、恵楓園の短歌会「檜の影短歌会」の指導者であった恵楓園元医師の内田守らが歌碑建設を発起、当時の恵楓園第四代園長・田尻敢や、短歌会会員らの賛同の下、寄付金が集められて建立するに至った。</p>	第12回検討会保存決定
9	河村正之所長の像	<p>【用途】 胸像</p> <p>【建設年】 昭和13（1938）年10月</p> <p>【構造】</p> <p>【規模】</p> <p>【履歴】</p> <p>・九州療養所初代長・河村正之（明治11／1878年—昭和8／1933年）の銅像。開所年である明治42（1909）年から昭和8年に死去するまで所長を務めた。昭和12（1937）年末から河村の知人や同窓生の間から銅像の建立についての機運が高まり、翌13（1938）年2月に九州療養所長・宮崎松記らが発起人となって広く寄付を仰ぐこととなった。同年10月1日に除幕式が行われた。像の製作者は熊本市花園出身の彫刻家・松原祥雲（まつばら・しょううん 明治40／1907—昭和40／1965年）で、松原は東京美術学校（現東京藝術大学）卒業、高村光雲ら有名彫刻家の指導も受けている。</p>	第12回検討会保存決定

●歴史的建造物等保存決定リスト（菊池恵楓園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
10	河村正之所 長の墓碑	<p>【用途】 墓碑</p> <p>【建設年】 昭和9（1934）年7月</p> <p>【構造】</p> <p>【規模】</p> <p>【履歴】</p> <p>・九州療養所初代所長・河村正之（明治11／1878年－昭和8／1933年）の墓。開所年である明治42（1909）年から昭和8年に死去するまで所長を務めた。死亡後、遺族により遺骨の一部を療養所内に分骨することが決定し、墓碑が建立されることになった。建設資金には職員・患者の寄付、また療養所運営費の一部が充てられている。墓石は飽託郡池上村字平山の山中のものが選定された。墓碑の題面の揮毫は熊本県知事・鈴木敬一、碑文の作成、揮毫は熊本第五高等学校の教授・岡井文学による。昭和9（1934）年7月27日に墓碑除幕式が執り行われた。</p>	第12回検討会保存決定
11	胎児慰霊碑	<p>【用途】 慰霊碑</p> <p>【建設年】 令和2（2020）年11月</p> <p>【構造】 石碑</p> <p>【規模】 句碑 880*600*1700 台座 1470*1100*400</p> <p>【履歴】</p> <p>・当園内で長年実施されてきた人工妊娠中絶手術により生まれてくることが叶わなかった子供たちの慰霊のため、令和2（2020）年に建立された石碑。</p>	第12回検討会保存決定
12	胎児慰霊碑詩	<p>【用途】 詩板</p> <p>【建設年】 令和2（2020）年11月</p> <p>【構造】 パネル：アルミ複合板 柱：鉄製</p> <p>【規模】 パネル600*1200</p> <p>【履歴】</p> <p>・胎児慰霊碑を建立するにあたり、その背景と入所者の思いを綴った胎児慰霊の詩文を設置した。</p>	第12回検討会保存決定

## ●歴史的建造物等保存決定リスト（長島愛生園）

No.	対象建造物等	概 要	備考
1	日出浴場	<p>【用途】 浴場</p> <p>【建設年】 昭和5（1930）年</p> <p>【構造形式】 鉄筋コンクリート 陸屋根</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【履歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平屋建てとして建てられたが、昭和30（1955）年に2階部分が増築される。その後、昭和53（1978）年に2階部分が取り壊され、平成9（1997）年に用途廃止となり、資材倉庫として利用。</li> </ul> <p>【構成材料（財産台帳より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁：リシン仕上げ</li> </ul>	第11回検討会保存決定
2	旧洗濯場	<p>【用途】 洗濯作業場</p> <p>【建設年】 昭和5（1930）年12月15日</p> <p>【構造形式】 鉄筋コンクリート</p> <p>【規模】 地上1階 156㎡</p> <p>【履歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和44（1969）年に増築、昭和60（1985）年に模様替え。</li> </ul> <p>【構成材料（財産台帳より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁：リシン仕上げ</li> </ul>	第11回検討会保存決定
3	園長宿舎	<p>【用途】 官舎（住宅）</p> <p>【建設年】 昭和5（1930）年1月25日</p> <p>【構造形式】 木造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：163.27平方メートル</p> <p>【構成材料（現在）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁：下見板張り・モルタル</li> <li>・屋根：瓦葺・トタン葺き（一部）</li> </ul>	第11回検討会保存決定
4	十坪住宅 （梅ヶ香）	<p>【用途】 寮舎（住宅）</p> <p>【建築年】 昭和12（1937）年</p> <p>【構造形式】 木造</p> <p>【規模】 平屋建て80㎡</p> <p>【履歴】 昭和55年（1980）年増築</p>	第11回検討会保存決定
5	十坪住宅 （第四千代 田）	<p>【用途】 寮舎（住宅）</p> <p>【建築年】 昭和8（1933）年</p> <p>【構造形式】 木造</p> <p>【規模】 平屋建て91㎡</p> <p>【履歴】 昭和52（1977）年増築</p>	第11回検討会保存決定

●歴史的建造物等保存決定リスト（長島愛生園）

No.	対象建造物等	概要	備考
6	邑久高校新 良田教室特 別教室	<p>【用途】 高校</p> <p>【建設年】 昭和30（1955）年</p> <p>【構造形式・規模】 特別教室：木造 地上1階</p> <p>【面積】 154.03㎡</p> <p>【履歴】 昭和30（1955）年9月16日「岡山県立邑久高等学校定時制課程新良田教室」として開校。昭和62（1987）年5月の閉校まで理科教室、家庭科教室及び美術室として使用。</p>	第11回検討会保存決定
7	収容棧橋	<p>【用途】 棧橋</p> <p>【建設年】 昭和5（1930）年11月15日 ※昭和12（1937）～昭和12（1939）年に増改築</p> <p>【使用状況】 ・昭和6（1931）年3月27日、全生園からの開拓患者が上陸した際は、手影島を望む礼拝堂前の地点から上陸したが、その後、すべての患者はこの棧橋から出入りすることとなった。 ・職員や面会人はすべて職員棧橋を利用。使用する棧橋を分けていた。</p>	第11回検討会保存決定
8	監房	<p>【用途】 監禁室</p> <p>【建設年】 昭和5（1930）年12月15日</p> <p>【構造形式】 鉄筋コンクリート造</p> <p>【規模】 地上1階</p> <p>【面積】 建築面積・延床面積：26坪</p> <p>【使用状況】 (以下入所者への聞き取りによる) ・監禁室は昭和6（1931）年の開園から昭和28（1953）年まで使用。 ・昭和39（1964）年精神病棟建設の際に埋められ、現在目に触れる部分は西側のコンクリート壁のみである。このコンクリート壁は土留め代わりとなっていたが、そのヒビ・たわみ（上からの土砂の圧力によると思われる）がひどくなったため、補強工事を行った。</p> <p>【構成材料】 ・外壁：モルタル塗</p>	第11回検討会保存決定
9	新良田治療 分室	<p>【用途】 高校／診療室</p> <p>【建設年】 昭和32（1957）年</p> <p>【構造形式・規模】 寄宿舍：木造 地上1階</p> <p>【面積】 104.13㎡</p>	第11回検討会保存決定